



大会会長挨拶

北海道大会会長 種村明頼

はじめに、大阪府北部の地震、西日本豪雨、台風21号及び北海道胆振東部地震等の自然災害により、多くの被害が発生しました。ここに謹んで亡くなられた方々のご遺族に哀悼の意を表しますとともに、被災されました皆様方に心よりお見舞い申し上げます。また、復旧・復興に向けてご尽力をされています多くの皆様方には敬意を表しますとともに、一日も早い復旧・復興を願っております。

第70回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会が、全国各地から多くの会員の参加を得て、この函館市において盛大に開催されますことに心よりお礼申し上げます。

本日は、ご多用の中、文部科学大臣 柴山昌彦様代理 文部科学省初等中等教育局教育課程課長 望月 禎 様、北海道知事 高橋はるみ 様代理 渡島総合振興局長 小田原 輝和 様、北海道教育委員会教育長 佐藤 嘉大 様代理 北海道教育庁渡島教育局長 五十嵐 晋 様、函館市長 工藤 壽樹 様、全国連合小学校長会歴代会長の皆様をはじめ多数のご来賓の皆様にご臨席を賜りましたことに全国連合小学校長会を代表して、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、2030年を見据え、全ての子どもたちにこれからの時代を生き抜いていくために必要な資質・能力を確実に育成する観点から新学習指導要領が示されました。学校教育において、児童生徒一人一人に、社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を發揮し多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となることができる力を育成していくことが求められています。

また、今後、AI、ビッグデータ、IoT等の先端技術が高度化することにより、産業構造や社会構造などが大きく変わっていくであろうと言われています。今、そのような社会、つまりSociety 5.0に向けた教育の在り方が議論されているところであります。

このような中、我々校長は、未来を見据え、学校や地域の状況を踏まえながら、必要な教育をイメージし、創意ある展望と計画のもと、よりよい教育の実現に向け、地域と連携・協働し、全教職員をまとめ教育活動を推進していかねばなりません。

全国連合小学校長会は、大会主題を「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」とし、実践的研究を進めてきました。この大会主題は、変化する時代の潮流や近未来的な課題を踏まえ、様々な分野で豊かな創造性やしなやかな知性を發揮し、互いの個性や絆を大切にする社会づくりに貢献できる日本人の育成を目指して設定されたものです。

また、北海道大会の副主題を「ふるさとの地から世界を見つめ 新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育てる学校経営の推進」と掲げ、取り組んでまいりました。この副主題の設定理由の中には、「変化が激しく将来の予測が難しい時代にあって、子どもたちが高い志や意欲をもつ自立した人間として育つためには、北海道の先人たちのように、他者と協働しながら新たな価値に挑み、未来を切り拓いていく力が必要である」という北海道小学校長会の強い思いが込められています。また、過去の大会の成果と課題を受け継ぎ取り組んでこられています。今後の学校経営及び教育活動の方向性や具体的な取組の示唆を与えてくれる質の高い研究大会になると確信しているところです。

分科会ごとの研究では、それぞれの研究課題において、その具現化を図るための校長の役割が明らかになるよう、発表いただいた研究内容をもとに、お互いの情報交換のみならず、積極的に意見や考えを出し合い、新たな小学校教育のグランドデザインの創造とそれを具現化する方策をもてるよう充実した協議会になることを期待しております。

また、明日開催されますシンポジウムにおいては、3名のシンポジストの方からのお話を頂戴することにより、今後の学校経営に役立てていただきたいと考えております。ご自身の学校経営に照らし合わせるとともに、近未来的な視点を意識していただきながら、能動的な聴講をお願い申し上げます。

結びになりますが、本大会の運営を推進してこられました大会実行委員長の本間達志校長先生をはじめとする各役員の皆様方、北海道小学校長会並びに函館市小学校長会の皆様方、ご尽力いただきました全ての皆様方に感謝を申し上げ挨拶いたします。